

議会だより

第79号

令和5年10月31日発行

第9回 子ども議会



私たち まちづくり提案 しました!!



主な内容

- 第9回 子ども議会 P2～3
- 第121回 定例会の結果 P4～11
- 一般質問 P12～20
- 委員会調査レポート P22～23
- 市民ギャラリー ほか P24

南あわじ市議会
ホームページ



 マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

8月3日、「第9回南あわじ市子ども議会」を開催しました。当日は、市内の各小学校の代表15人が子ども議員となり、「みんなが幸せに暮らせるまちづくりについて」「持続可能(SDGs)なまちづくりについて」をテーマに発言し、議員が答弁を行いました。



武市 浩司 子ども議会議長



沖田 旭 子ども議会副議長

あべ ここな
阿部 心奏議員(阿万小)

年代を超えた交流を図るため、学校のグラウンドにベンチ等の休憩施設を設置してほしい。また、車の後ろに本を積んだ移動図書館で公園を回ってもらい、大人から紙芝居や昔遊びを教えてもらいたい。



どうまる
堂丸 ここね議員(神代小)

道路の幅やドライバーに横断歩道を認識させる工夫や歩道橋の修繕を行って、通学路の安全を確保してほしい。また、お年寄りの方と料理やだんじり歌などで交流し、文化を受け継ぐとともに元気を届けたい。



えのもと
榎本 あいな議員(志知小)

希少な淡路島なるとオレンジの生産が途絶えないように、自分たちでレシピを考え、給食で食べてもらえばよいと思う。新しい取り組みを行えば、地域の活性化につながる。南あわじ市の良さをもっと伝えたい。



おきつ ゆな
興津 祐那議員(賀集小)

公園があれば、友達と一緒に外で遊ぶことができ、元気がでる。また、公園があれば、地域の方々と子どもたちの交流が増え、安心・安全な地域が作られる。みんなが集まれる公園をいくつか設置してほしい。



しみずことは
清水 琴葉議員(市小)

三原センターパークの遊具の修繕、学校周辺の側溝の安全確保、学校の天井、壁、フェンスの修繕やエアコンの設置などの対策を行い、みんなが安心して、気持ちよく過ごせるようにしてほしい。



おきた あさひ
沖田 旭議員(北阿万小)

高齢者が多いこと、地域の人たちとの交流ができていないことから、病院と体育館が一緒にある施設をつくらしてほしい。運動に接することで、高齢者の免疫力向上や入院している人の元気につながり、多くの人が笑顔になる。



くるめ ぜん
久留米 然議員(福良小)

友達と外で元気いっぱい遊べるように、バスケットコートや大きな遊具がある公園がほしい。コロナ禍が明けた今だからこそ、小学生同士だけでなく、地域の人たちとも交流がしたい。そのために、みんなが集まりたいと思える場所が必要。



おおみ はな
近江 華議員(倭文小)

街灯や危険なところへの看板の設置など安全を確保してほしい。また、倭文の子どもは年々減ってきているが、閉校した倭文中学校を利用してお店をつくるなどすれば、住む人が増えて、子どもが増えるのではないかなと思う。



第9回 南あわじ市子ども議会 質問一覧表

子ども議員名(学校名)	質問内容	答弁者
阿部 心奏(阿万小)	みんなが幸せに暮らせるまちづくりについて	阿部議員
堂丸 ここね(神代小)	安全安心な南あわじ市をつくっていくために	印部議員
榎本 あいな(志知小)	20年後も農業をほこれる南あわじ市であるために	土井議員
興津 祐那(賀集小)	幸せなまちづくりに公園を	木場議員
清水 琴葉(市小)	みんなが安心して暮らせる市へ	蛭子議員
沖田 旭(北阿万小)	幸せに暮らせる町づくりについて	谷口議員
久留米 然(福良小)	僕たちが幸せに暮らせるまちづくりについて	熊田議員
近江 華(倭文小)	より良い倭文地区をつくるために	久米議員
武田 晴(辰美小)	ららウォークあとについて	中村議員
前川 凜乃(榎列小)	魅力のある町づくり	廣内議員
北野 楓馬(八木小)	通学路の安全について	長江議員
石田 彩緒衣(湊小)	ボランティア活動について	蔭山議員
神邊 美桜(沼島小)	みんなが集まる魅力ある公園を沼島に	原口議員
武市 浩司(広田小)	南あわじを盛り上げていくために	吉田議員
小濱 愛佳(松帆小)	南あわじに住む子どもたちのために	大江議員

ただ はる
武田 晴議員(辰美小)

同じ趣味を持つ人が集ったり、子どもが走り回れたり、本を読める総合施設をららウォークのところにできれば、子ども大人もお年寄りもみんなが楽しめる、子どもも増えるし、南あわじ市に活気が出ると思う。



まえがわ りの
前川 凜乃議員(榎列小)

遊具の修理や入れ替え、人工芝などで魅力ある公園にしてほしい。また、南あわじ市の特産物の魅力を発信する施設、スポーツ施設を整備するとともに、訪れた人が交流できるイベントを計画する等魅力ある街となる取組をしてほしい。



きたの ふうま
北野 楓馬議員(八木小)

オニオンロードを走行する車のスピードが速く、横断する児童は怖がっている。制限速度を遅くしたり、速度計測器を設置するなどの対策を行い、みんなが安心して生活できるようにしてほしい。



いしだ あおい
石田 彩緒衣議員(湊小)

町をきれいにするボランティア活動が活発化するように、環境ポスターやマスコットづくりを行いたい。ゴミ問題と真剣に向き合い、きれいで安心して暮らせる持続可能な南あわじ市にしたい。



かんべ みお
神邊 美桜議員(沼島小)

沼島にある「おのころ公園」に、自然をテーマにしたアスレチック遊具や使わなくなった船を再利用した遊具を設置し、沼島の人だけでなく、観光客も利用できる、沼島ならではの魅力ある公園にしてほしい。



たけいち こうじ
武市 浩司議員(広田小)

淡路島の中心に位置する広田に道の駅をつくり、南あわじ市のいいところを紹介することで、移住してもらい、人口増加に繋げたい。笑顔で、楽しい時間を過ごし、満足して帰ってもらえる場所をつくってほしい。



こはま まなか
小濱 愛佳議員(松帆小)

空き地を活用して、地域の人と交流できる公園をつくってほしい。また、道路を広くしたり、グリーンベルトやガードレールを設置するなど、安全な通学路を確保してほしい。



子ども議会での提案が実現



おのころ島神社、タマネギ、コアラをコラボしたキーホルダー
2019年8月 榎列小学校



南あわじのええもんおしえ隊！
ファイル+手提げ袋
2021年8月 湊小学校



沼島のごみゼロと魅力をアピールしたステッカー
「♡ぬしマリン☆」
2022年8月 沼島小学校

決算審査特別委員会

【日 程】 R5.9.14～9.20
 委員長 北条志津子
 副委員長 土井 巧
 委員 全議員
 （議長・監査委員を除く）

審査過程で委員から出された
 主な意見は次のとおりです。

一般会計審査報告

歳 入

地方交付税

総務省の「高齢者等世帯に対する
 ごみ出し支援」として市区町村
 が実施するゴミ出し支援の人件
 費などの2分の1が特別交付税
 として算入されている。この交
 付税を活用し、ごみ出しで不便を
 感じている高齢者等の支援に積
 極的に取り組んでいただきたい。

歳 出

地域おこし協力隊推進事業

協力隊1名あたり、約400万円
 の事業で、内訳は人件費が約200
 万円、活動費が約200万円で実施
 しているとのこと。予算を有意義
 に活用するため、活動費の使用
 方法等を検討し、協力隊の活
 動を円滑にすることで、地域の
 活性化に繋がっていただきたい。



▲地域おこし協力隊による試食会

大学連携推進事業

吉備国際大学の卒業生が南あ
 わじ市内で就業し、それによっ
 て経営規模が拡大したという成
 果も聞いている。大学にとって
 地域連携ができていることは大
 きな魅力である。私立大学は定
 員割れの問題などがあり、厳し
 い状況であるので、その魅力を
 生かす取り組みを引き続きして
 いただきたい。

定住促進事業

移住支援補助や空き家確保支
 援事業補助など、補助件数が昨
 年度よりも増えており、相談件
 数も増えているとのこと。今後
 もますます増えることが考えら
 れる。移住定住をさらに促進す
 るため、補助要件の見直しや、
 支援制度を幅広く周知するため
 の工夫を行い、人口減少に歯止
 めをかけていただきたい。



▲確保している空き家（イメージ）

介護・看護職員確保対策事業

医療関係者9人、介護職員9
 人を確保した令和4年度の周知
 方法は、市のホームページや広
 報紙、社会福祉法人連絡協議会
 「ほっとかへんネット」への呼び
 かけに留まっているとのこと。

さらに、介護・看護人材の安定
 的な確保に繋げていくためにも、
 「南あわじ市若者ふるさと応援便」
 の活用や看護学校への積極的な
 呼びかけなど、周知の拡充に努
 めていただきたい。

物価等高騰対策
生活応援給付事業

令和4年9月末時点で、南あ
 わじ市に住民登録のある世帯で、
 世帯全員の住民税所得割合計額
 が9万7千円未満の世帯に対し、
 2万5千円を給付している。給
 付率が90.6%と、約9割に留まっ
 たのが残念である。マイナンバー
 カードの取得と公金受け取り口
 座の登録を、さらに積極的に働
 きかけ、対象者全ての方にデジ
 タル化による円滑な給付と経費
 の削減に繋がっていただきたい。

高齢者等元気活躍推進事業

シルバー人材センターなど、
 関係機関との協働を強化し、一
 緒にシニアの仕事の場を開拓す
 るよう進めているとのこと。簡
 単な手法・アイデアで、農業分
 野からの仕事の切り出しが、手
 軽に引き出せる仕組みづくりを、
 今後、工夫して進めていただき、
 第一次産業における労働力不足
 の改善を図っていただきたい。



放課後児童クラブ事業

毎年2校ずつ、アフタースク
 ール事業へ移行し、最終的には15
 校全ての小学校区において、ア
 フタースクール事業を実施する
 計画であるとのこと。アフター
 スクールの場所は、子ども達が
 移動中、交通事故に合わないよ
 う、校内に設置するのが望まし
 いことから、今後、十分調整し
 ながら、円滑に移行できるよう、
 進めていただきたい。



▲オンラインで講師が見守る中での
 対戦（将棋）

下水放流施設管理運営事業

旧施設である衛生センターで
 は、脱水汚泥を寺内堆肥センター
 で堆肥化していたのを、令和4
 年8月稼働の下水放流施設では、
 脱水汚泥を焼却処分に変更した。
 そのため、脱水汚泥に係る費用
 が大幅に減ったとのこと。南あ
 わじ市内でバイオマス資源循環
 を推進しているため、将来的に
 は、下水放流施設の脱水汚泥を
 堆肥化するなど、資源循環させ
 る方向で検討されたい。



▲下水放流施設

食の拠点推進事業

たまねぎ価格の高騰やコロナ
 禍の収束、イベントの実施等
 により売り上げが過去最高になっ
 ている。観光客だけではなく、
 地元住民への広報、営業時間の
 見直し、農産物等の出荷者とフ
 ードコートの出
 店者の連携強
 化などの改革
 に取り組み、
 さらなる集客
 につなげてい
 いただきたい。



▲フードコートで開催された
 試食会の案内看板

地籍調査費

市の合併以前から地籍調査を
 行っているが、終了時期が決まっ
 ておらず、出口が見えない。地
 籍調査は国の礎になる調査であ
 り、課税に関係してくるもので
 もあるので、調査を進めること
 は市の責務だと考える。調査方
 法を抜本的に見直し、新しい調
 査方法を取り入れるなど、可能
 な限り早く進めるよう検討して
 いただきたい。

農業公園管理事業

令和4年度の入込客数が約41
 万人で、令和元年比で106%と回
 復してきている。若い従業員の
 知恵を活かした地場産のものを
 使用した加工品の開発や、SNS
 を活用した動物個々の情報発信
 など、戦略を工夫した結果が出
 てきている。特徴のあるものや

売れ筋などを考慮し、さらに集
 客が増えていく仕組みを検討し
 ていただきたい。

有害鳥獣対策事業

被害防止に対して集落で話し
 合っていたき、防護柵や箱ワ
 ナの効果的な設置を進めている。
 また、猟師を確保するため、狩
 猟免許取得への補助金の交付、
 現役の猟師による狩猟体験会を
 行っているとのこと。有害鳥獣
 対策は南あわじ市の大きな課題
 であり、住民の生活に直結する
 問題であるので、より一層、推
 進していただきたい。



▲箱ワナで捕獲されたイノシシ

農林振興費

松くい虫の防除に関しては、
 淡路森林組合等からの助言を踏
 まえ進めているとのこと。ここ
 数年は完全に駆除できておらず、
 徐々に被害が広がっている状態
 である。白砂青松の景勝地とし
 て、また水源かんようや防災機
 能においても重要な役割を担っ
 ているので、できるだけ被害を
 抑え、次の世代に松林を残すた
 めに努力していただきたい。



▲松くい虫の防除作業

産業活力アップ
起業支援事業補助金

令和3年度は10件、令和4年度は17件と実績が伸びており、今後も市内の起業家がますます増えると見込んでいるとのこと。起業家と空き家とのマッチングを進め、空き家取得加算を有効に活用することで、空き家対策の取組も併せて進めていただきたい。

広域観光ブランディング事業

南あわじ市と鳴門市の観光事業者が令和4年3月にうずの幸グルメを開発し、PR事業等を行った結果、令和4年3月から12月までの販売実績が1万9,389食、販売金額が4億4,194万円であった。また、渦潮海峡で獲れる食材がなぜ美味しいのかを語れるうずの幸マイスターの育成に取り組んだほか、事業者自らが国内外に情報発信できるように研修等を行っているとのこと。今後、数字で目標を立て、両市で連携をとり、さらに成果を上げていただきたい。



▲うずの幸グルメお披露目会

校地借上料

該当箇所は、施設整備当時、用地買収ができなかった湊小学

校、榎列小学校、北阿万小学校などであるとのこと。借地の場合、財政的な負担が継続していくことや、将来、新たな事業を行う際、障壁になる可能性があることから、市の財産として取得できるよう努めていただきたい。

■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

子ども、母子等への医療費助成が所得制限によりすべての子ども等が対象にならない、各自治体で加速している学校給食費の無償化に取り組んでいないなど物価高騰の中で市民生活応援の決算としては不十分である。

特別会計審査報告

後期高齢者医療特別会計決算

兵庫県卒の特別調整交付金7,500万円を県下11市が申請し、サービス事業を受けているとのこと。農業が盛んな当市において、市民の健康維持及び増進を図るため、他の自治体を参考に、保険適用外分であっても、マッサージ、はり、きゅうのサービスが受けられるよう、一定の助成基準を設け進めていただきたい。

産業廃棄物最終処分事業
特別会計決算

産業廃棄物最終処分場については、受入容量が残り少なくなっ

ている。搬入制限による延命措置をとりつつ、同時に新たな処分地を検討することや民間の瓦リサイクル計画の動向について注視しているとのことだが、現施設の終わりを、今後、どのように進めるのか、具体的な事業計画を立てていただきたい。



▲産業廃棄物最終処分場

国民宿舎事業特別会計決算

慶野松原荘の宿泊者を含む利用者数は、指定管理導入年度である平成30年度が22,800人であったのに対し、令和3年度が18,600人、令和4年度が20,224人と、コロナ禍からの回復過程で、経営的に安定に向かっているとのこと。今後、指定管理の更新、また、施設のあり方を考慮する際には、慶野松原荘の歴史、文化を踏まえながら、集客数の把握、周りの施設との比較の上、地域振興と観光振興において深く検討を行っていただきたい。



▲国民宿舎 慶野松原荘

議案の審査報告

令和5年度一般会計
補正予算(第3号)

■議案内容

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億4,188万1千円を追加。

■主な質疑

▶埋蔵文化財費の発掘調査
委託料4,080万円の増額

問 増額になった内容は。

答 八木養宜の県営ほ場整備事業で発掘調査の範囲が900㎡拡張されたこと。

▶地域公共交通推進費
1,000万円の増額

問 増額した理由は。

答 徳島空港便のプロモーション費用。大阪・関西万博を見込み、新聞広告、SNSなどを利用し、さらに広報をしていきたい。



▲徳島空港発着イメージ

▶休日診療所費の実施設
計委託料150万円の増額

問 委託料の内容は。

答 現在使用していない旧の休

日応急診療所を解体撤去するための実施設計委託料。解体撤去後は淡路広域消防南淡分署の移転用地として活用する予定。

▶農業生産コスト低減緊急
対策事業補助金1億
6,594万7千円の増額

問 補助金の内容は。

答 生産コストを低減するスマート農業機械の導入に対し、機械の購入費の2分の1以内、750万円を上限に補助するもの。



▲直進アシスト機能のあるトラクタ

▶大学入学奨励金
280万円の増額

問 増額になった原因は。

答 当初63名を見込んでいたが、76名の入学者であった。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

令和5年度一般会計
補正予算(第4号)

■議案内容

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,560万円を追加。

■主な質疑

▶門崎砲台跡一部保存工
事費8,000万円の増額

問 工事概要は。

答 砲台の天井内部および砲台外部に足場を設置し、ワイヤーソーイング工法によりコンクリート部分を切り出し、仮置き場へ運搬する工事。

問 事前の地下探査の際に、砲台部分も探査していたのではないか。

答 みさき荘の建築物があった状況で周辺部を探査したため、明確に砲台跡があるかどうか知り得なかった。

問 切り出した砲台の一部をどのように活用するのか。

答 保存活用については、専門家あるいは有識者に幅広く意見を聞く場を設ける。できるだけ早期に砲台の保存および活用の方向性、全体的な計画を立案し事業を進めていきたい。

■委員間討論

砲台を現地保存することは非常に困難な状況であるので、補正予算を有効に活用し、より良い活用をお願いしたいとの意見。

■討論

反対 長江 和代 議員

討論要旨

門崎砲台は現地保存により、時代を超えて歴史と空間を共有出来、追体験も出来る。現地保存することで砲台跡は第二の生命を得て歴史の証言者として21世紀に蘇る。そして歴史に向かい合い、学び継承して行く場となる。

賛成 蛭子 智彦 議員

討論要旨

今後検討委員会を立ち上げ、保存法などについて幅広く専門家や市民から声を聞くことになっている。そのためには、予算が必要であり、やや費用を掛けすぎるとの懸念もあるが、やむを得ない措置として賛成。

賛成 原口 育大 議員

討論要旨

門崎砲台跡が貴重な史跡であることを遅まきながら理解して、解体撤去から一部を切り取って移設保存することに方針転換したことは、一歩前進であると評価し、解体移設とその後の展示を丁寧に進めるよう要望する。



▲門崎砲台跡

▶市営住宅災害復旧工事費860万円の増額

問 事業の概要は。

答 8月の台風7号で市営の賀集住宅の屋上防水シートがはがれたための復旧工事。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

南あわじ市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定

■議案内容

市長等の地方公共団体に対する損害賠償責任について、市長等に善意で重大な過失がない場合は、条例で定めた一定額を超える部分を免責可能とするもの。

■主な質疑

問 市長の基準給与年額の6を乗じて得た額とは。

答 市長の給与を仮に1,000万円とし、裁判所から1億円の損害賠償の支払い命令があった場合、6,000万円までは賠償しなければならないが、それを越えた4,000万円は免責になる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

南あわじ市空家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

空家等管理活用支援法人の指定及び特定空家等の除却等について定めるもの。

■主な質疑

問 管理不全空家とはどういう家屋なのか。

答 放置された状態で、今後、特定空家になる恐れのある空家のこと。

問 この改正で、空家の除却件数が増えるのか。

答 市の指導や勧告等を行う期間は今までと同様に必要であるので、空家除却の加速につながるのには難しい。

問 相続放棄によって空家が残ることはないのか。

答 今回の法改正に基づき、市が家庭裁判所に空家を除却する代表者の選任を請求することが可能になる。勧告以降の処理が円滑に行えるようになると考えている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

灘黒岩水仙郷外構整備工事請負変更契約の締結

■議案内容

入谷緑化土木㈱との契約を3,638万6,900円増額し、3億8,838万6,900円で契約。

■主な質疑

問 球根の植付が追加された理由は。

答 多数の球根を地元で手配することができなかった。業者への発注の数量が確定したのが8月上旬となったため、今回追加となった。

問 残土処理費が増額になった理由は。

答 当初は、水仙郷の掘削土を市有地の倉川駐車場に仮置きする予定だったが、今年度の冬のリニューアルオープンにあたり、

バス10台分の駐車場場所を確保する必要があるため。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲灘黒岩水仙郷完成予想図

道の駅うずしおリニューアル工事請負変更契約の締結

■議案内容

㈱森長組との契約を1億2,237万8,300円増額し、14億7,537万8,300円で契約。

■主な質疑

問 仮に門崎砲台跡を現地保存することになった場合、交付金等はどうなるのか。

答 建設に当たっての許認可や交付金等の有利な財源は白紙となる。

問 入札は令和5年5月2日に行われているにも関わらず、なぜ労務単価期の変更に伴う増額が必要なのか。いくら増額か。

答 設計書起案時では昨年度令和4年3月1日時点の旧労務単価を用いていた。416万7,000円の増額となる。

問 追加された建築工事の金額の内訳は。

答 遺構解体撤去費に2,248万

6,000円、解体に伴う発生材処分費に2,018万6,000円、遺構解体部分の基礎の地耐力の確保に2,375万1,000円、灯台保護のための土留工に3,252万7,000円、他事業との調整として1,926万2,000円。

■委員間討議

教育委員会が文化財保護審議会への諮問の手続きを怠ったことで、現状のままでは保存困難と市長へ報告したことを大変残念に思っているとの意見。

数量の根拠が不明確である。今後は金額や図面など十分精査された資料を提示してほしいとの意見。

■討論

反対 原口 育大 議員

討論要旨

教育委員会は文化財保護審議会に対して、9月6日になってやっと砲台跡の保存に関する諮問を行ったが、それまでの対応は極めて不誠実であり、教育委員会に対する市民の信用を著しく失墜させたのではないかと懸念する。

賛成 蛭子 智彦 議員

討論要旨

包蔵埋設文化財として砲台跡は位置づけられ、リニューアル工事に負荷を掛けない範囲で一部保存が必要。変更契約では、慎重に対応することが示されており、破壊的に解体撤去をするものでないことから賛成する。

反対 長江 和代 議員

討論要旨

明治32年に作られたこの門崎砲台跡は大変貴重な最大級の戦争遺跡であり、南あわじ市の歴史的、文化的財産である。各方面から現地保存の声が上がっている。また、保存により子ども達の歴史的教育に役立てるべきだ。

賛成 阿部 守 議員

討論要旨

今、市にとって重要なのは、今計画を円滑に推進し大阪・関西万博時に当該施設への誘客を実現すること。一部移設保存する門崎砲台跡も圧倒的に多くの人の目に触れ、その文化価値をさらに増していくと考えるので賛成する。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲道の駅うずしお完成予想図

人事案件 〔敬称略〕

■副市長の選任

同意 喜田 憲和

任期 令和5年8月30日～令和9年8月29日

■人権擁護委員候補者の推薦

適任 原 博美

任期 令和6年1月1日～令和8年12月31日

少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願

請願は採択

- 請願内容 2021年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられるものの、きめ細かい教育活動を進めるためには、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要である。義務教育費国庫負担制度については、2006年に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられましたが、自治体間の教育格差が生じないように、教職員定数改善に向けた財源保障をし、全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。こうした観点から、2024年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出を請願いたします。
1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
 2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
 3. 自治体で、国の学級編制標準より引き下げた「学級編成基準の弾力的運用」の実施ができるよう、加配の削減はおこなわないこと。
 4. 教職員未配置問題の解消にむけ、必要な財政措置を講じ、人材確保に努めること。
 5. 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランスの確保等の観点を十分に考慮し、すべての自治体で定年引き上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講ずること。
 6. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

■請願者 南あわじ教職員組合 執行委員長 倉本 亮

■紹介議員 印部 久信 議員
蔭山 順子 議員

■議決結果 賛成多数で、採択。

■意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣など

門崎砲台跡の保存に関する請願

請願は不採択

- 請願内容 門崎砲台跡などの要塞砲台跡は明治期を代表する戦争遺跡であり、日本近代史を知る上で重要な歴史資料である。門崎砲台跡には鳴門海峡の近代の歴史が刻まれています。このような門崎砲台跡の重要性から下記のことを請願する。
1. 商業施設の設計変更等によって門崎砲台跡の現地保存を行うこと。
 2. 門崎砲台跡周辺部について今後学術調査を実施し、史跡など文化財指定を行うこと。

■請願者 戦争遺跡保存全国ネットワーク 共同代表 出原 恵三
菊池 実

■紹介議員 長江 和代 議員

■委員間討論 現地保存しない場合、別の場所に遺跡の一部を移設し、後世の方々に学習してもらう場を作るべきであるとの意見。

■討論 賛成 原口 育大 議員

【討論要旨】 商業施設の設計変更等による砲台の現地保存については、ほとんど議論されず残念であった。鳴門の渦潮世界遺産登録を目指す本市として、門崎砲台跡についての学術調査を実施し史跡など文化財指定を行うことを求める。

反対 蛭子 智彦 議員

【討論要旨】 現地現物保存するほどに、価値観を見いだせず、翻って、調査、保存手続きを進めた場合、市の財政負担、事業者の経営、南あわじ市への負の経済波及効果が懸念される。市民にリスクを背負わせられないことから反対。

■議決結果 賛成少数で、不採択。

特定不妊治療に関する請願

請願は採択

- 請願内容 2022年4月より、不妊治療の保険適用（年齢制限43歳未満）が始まり、「特定不妊治療助成制度」（年齢制限43歳未満）が廃止となっていることについて、下記事項を請願する。
1. 特定不妊治療に要した費用の一部を年齢に制限なく助成すること。
 2. 年齢等で保険適用を受けることができない者に、自治体独自の助成をおこなうこと。

■紹介議員 谷口 博文 議員
阿部 守 議員

■委員会附帯決議 特定不妊治療は、令和4年4月より保険適用となり、利用者負担の軽減につながっている。しかし、国の保険適用には年齢制限・回数制限があり、子どもの出産を希望する対象者に対して十分な助成をする制度になっていないことから、市独自での助成制度の創設を要望する。

■議決結果 賛成多数で、採択。

■意見書提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議 案 名	議決結果
市長	土地開発事業特別会計決算の認定	認定
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定	認定
市長	国民宿舎事業特別会計決算の認定	認定
市長	広田財産区特別会計決算の認定	認定
市長	福良財産区特別会計決算の認定	認定
市長	北阿万財産区特別会計決算の認定	認定
市長	沼島財産区特別会計決算の認定	認定
市長	下水道事業会計決算の認定	認定
市長	令和5年度南あわじ市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
市長	令和5年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
市長	南あわじ市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定	原案可決
市長	南あわじ市空家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	灘黒岩水仙郷外構整備工事請負変更契約の締結	原案可決
市長	副市長の選任	同意
市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
請願	特定不妊治療に関する請願書	採択
請願	少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願	採択
総務文教常任委員会	少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持に係る意見書	原案可決
産業厚生常任委員会	特定不妊治療費の制限の廃止を求める意見書	原案可決

■賛否の分かれた議案

議長は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議 案 名	議決結果	大江 幸司	熊田 司	阿部 守	谷口 博文	印部 久信	土井 巧	蔭山 順子	久米 啓右	原口 育大	中村 三千雄	吉田 良子	北条 志津子	廣内 孝次	長江 和代	木場 徹	蛭子 智彦
市長	令和4年度決算認定	一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
市長	国民健康保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
市長	後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
市長	介護保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
市長	道の駅うずしおりリニューアル工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○
市長	令和5年度南あわじ市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
請願	門崎砲台跡の保存に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×

市政を問う

～より良い南あわじ市へ～

閲覧方法 「市のホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」→「一般質問の録画配信」

9月7日、8日、11日、13日の4日間にわたって、議員16人が一般質問を行いました。
 なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

議員名	質問内容	ページ	議員名	質問内容	ページ
蛭子 智彦	●南あわじ市の観光戦略 ●戦争遺跡の保存、未来への継承 ●低地対策	13	大江 幸司	●倭文中学校の跡地利用 ●(マイナンバーカード) ●(淡路島南IC周辺サイクルロードの整備)	17
阿部 守	●沼島地区の保育所 ●(中学校の部活動の地域移行) ●(市内の海水浴場) ●(門崎砲台跡)	13	谷口 博文	●市営住宅 ●(一般ゴミ収集) ●(広域消防救急車の増大のお願い)	18
久米 啓右	●(門崎砲台) ●地域計画(旧人・農地プラン)	14	蔭山 順子	●本市の姉妹都市・友好市町 ●学ぶ楽しさ支援センター ●読書活動の推進 ●(地元要望)	18
長江 和代	●物価高騰 ●(特殊詐欺の防止) ●関西空港の発着回数増と飛行ルート、高度の変更 ●文化財等の保存	14	北条志津子	●充実した豊かなくらしづくり ●子ども議会での要望 ●(ほ場整備事業)	19
原口 育大	●(2040問題) ●門崎砲台	15	木場 徹	●公園の管理体制と新設要望 ●水産振興 ●道路、排水整備	19
吉田 良子	●物価高騰対策 ●認知症対策 ●関空・神戸空港の新ルート	15	中村三千雄	●離島振興計画(令和5年～14年)と沼島地域の現状と課題	20
土井 巧	●地区公民館の改修 ●学校教育・AIの活用 ●(子ども議会より)	16	印部 久信	●異常気象と市民生活	20
廣内 孝次	●渦潮の世界遺産登録 ●(公園整備) ●道路整備	16			
熊田 司	●福祉・子育て ●教育	17			

()書きの質問については、掲載しておりませんが、録画映像でご覧いただけます。

QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で、質問議員のQRコードを読み取ると、直接一般質問の録画映像をご覧いただけます。

※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



市民の会

蛭子 智彦 議員



慶野松原でキャンプ、バーベキューを

問 観光振興として、慶野松原でキャンプやバーベキューが必要という認識を観光部局は立場として持ってほしい。どうか？

答 身に染みてわかっている。今教育委員会と協議している。重点的に協議していきたい。

海岸保全に潜堤を

問 慶野松原海岸浸食防止に潜堤設置の要望が出ているがどう対応するか。

答 令和6年、7年と複数年かかるが事業実施のスケジュールは聞いており、順次進めていきたい。

門崎砲台の現地現物保存は困難では

問 砲台跡の現地保存は観光戦略からしても無理があると思うがどうか。

答 設計変更も伴い、現地保存に向けての設計変更は検討していない。

桜ヶ丘公園の予科練慰霊碑の保全を求める

問 この公園は予科練生ら82名の慰霊施設だが、とても傷んでいる。戦争の悲惨さを伝える教

育施設として整備できないか。

答 色んな所に忠魂碑などもあり、課題が出てきている。戦争遺産を観光の一環として位置づけ、多くの人の目に触れてもらうことも大事。



▲宝塚予科練生 彰忠碑

古津路地区の下水道工事は間に合うか

問 県道拡張が遅れ、古津路地区下水道工事が進んでいないが。

答 令和6年実施設計、7年8年で着手、排水対策も取り組みたい。県道拡張に先行したい。



誠道クラブ

阿部 守 議員



沼島保育所は存続していく！

問 沼島保育所は4月から沼島総合センター3階にてスタートしていますが、色々な施設の問題点について市の方は把握しているか。

答 3階の窓に柵がなく小さい子供には危険である。トイレまでの距離が長く、子供用に改修されていない。手洗い場が保育室にない。調理室が保育所の単独利用でない。など聞いている。

問 総合センター横の空き家になっている歯医者をリフォームして保育所として活用したいという事業者からの提案があるが、

撤去費用などの補助を出すことは可能か。

答 経費面での支援は考えていない。現在の総合センター3階での保育環境、これを可能な限り整備させてもらう。

問 保護者が一番心配している点は、今後も沼島保育所は存続していくのかという点だが市長の考えは。

答 市、沼島の方々、事業者の3者が努力して続けていく。

問 事業者が撤退した場合は市の直営も考えているか。

答 できるだけ今現在の形で回っ

ていく努力をする。

問 存続に向けて3者はもちろん、私も微力ながら努力をしていく。

答 我々も存続できることを望んでいる。

その他、中学校の部活動の地域移行・市内海水浴場の安全管理・門崎砲台跡について質問した。



▲沼島で保育が行われている総合センター(3階)



創生クラブ

久米 啓右 議員



旧人・農地プラン（地域計画）がスタート

問 地域計画策定の現状は？

答 農業関係集落は170集落あり、その中で何らかのアクションを起こしている集落は54集落。全体の32%となっている。

問 説明会の中での疑問とか要望は？

答 1番目、地域計画の様式が難しく、作成が困難である。2番目、策定地域の範囲が広く、農家軒数が多い地域では、合意形成が困難である。3番目、隣接する地域と区域、地域計画の範囲の調整が難しい。4番目、地域外住民の意見の反映が難し

い。5番目、利用権設定の制度変更が足かせになっている。6番目としては、関心が低い人をどう引き込むかということに少し悩んでいる。

要望として、目標地図作成は、デジタル化を進めてほしい。2番目、全国優良事例を紹介してほしい。3番目、地域計画を達成するために必要な補助事業を充実してほしい。4番目として、策定が令和6年度末という期間が短過ぎるよという意見もあった。その中で、話し合いで世代間を超えた話し合いが増えたとか、

地域の現状が見えてきたという声もあった。

問 令和5年度も農業生産コスト低減緊急対策事業というのがありますが、令和4年度との違いは？

答 地域計画を令和6年3月までに作る意思を示すことが参加要件になっている。



創生クラブ

長江 和代 議員



物価高騰が止まらない

問 物価が高騰している。消費者物価指数は2020年を100とした場合7月は105.7と上昇している。どのような支援策をしているか。

答 商品券の給付事業、保育施設、小中学校の学校給食の負担抑制事業などを実施している。

神戸・関空の騒音について

問 神戸・関空飛行経路見直し、淡路島上空ルート増加及び制限高度引き下げが計画されている。関空開港時多くの時間を割き、南あわじ市の基幹産業の畜産業への影響が考慮され、決定され

た。大阪万博に向けて今回の飛行ルートが2から7ルートに増え、発着回数も20万回から30万回に増える。また高度を2,400から1,500mに下げると騒音が増すと思う。騒音をどのように測定するのか？

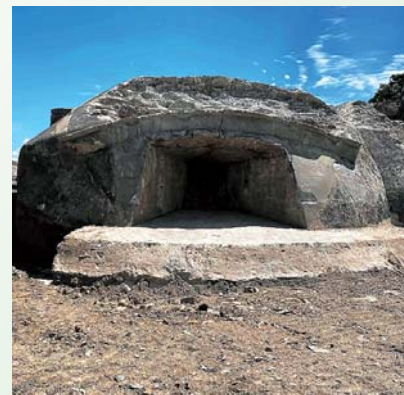
答 実際の飛行機を飛ばしては難しい。環境検証委員会を設置しており騒音測定などが公表されてくるので乳牛への影響とか市の意見として伝えたい。

文化財保護について

問 門崎砲台はタイムカプセル

のようだと思うが残す事で南あわじ市の歴史を残せるのではないかと。子供たちに伝える事はしないのか。大阪万博に合わせるのなら商業施設を後ろにセットバックして建てるのか方法はな

答 建設時の状況を再現したパノラマ模型の作成などの手法によって次世代に伝承していきたい。



▲門崎砲台



ゆづるはクラブ

原口 育大 議員



門崎砲台について

問 8月30日に門崎砲台について学ぶ講演会を中央公民館で開催した。前日の朝刊チラシの中で、南あわじ市議会も主催しているような誤解を与えたが、議会は全く関係ない。副市長も来ていただいたが、感想を。

答 全国にも類例がない貴重な戦争遺跡であるという解説があったが、ドームに深い亀裂もあり現場保存は、ちょっと無理かなというような感じ。総合的に意見を聞きながら判断しなければならないと感じた。

問 南あわじ市文化財保護審議

会から教育長宛に出た要望書の内容は。

答 去る8月9日、一般公開に先立ち、南あわじ市文化財保護審議会が門崎砲台跡を見学する機会を設けていただきました。その際、教育委員会埋蔵文化財調査事務所の調査担当者から、砲台の概要、規模、調査に至る経過、調査後の予定等について詳しい説明がありました。しかしながら、明治期に建造されたこのような形式の砲台ドーム



▲門崎砲台

は、国内唯一、しかも、最大級のものであり、戦争の歴史を物語る貴重な構造物であります。したがって、今、取り壊してしまうのは、将来に大きな禍根を残す心配があります。誠に厚かましいお願いでございますが、保存の方向で再考いただきますようお願い申し上げます。



日本共産党

吉田 良子 議員



物価高騰対策として水道料金の引下げを

問 ガソリン価格の高騰、食料品など値上げが止まらない。4年度市の会計は、黒字決算となっているが、市民生活は厳しい物価高騰対策の一つの提案として水道料金の引下げは考えられないか。特に淡路の水道料金は兵庫県下で2番目に高く家計を直撃しているがどうか。

答 一律の考えは今のところ持っていない。

認知症対策は予防を重点に

問 市の認知症の状況は。
答 65歳以上5人に1人、市では

約3,200人。介護認定では約2,600人。

問 市の認知症施策推進計画の考えは。

答 次期介護保険事業計画等の中で盛り込む方向。

問 兵庫県版認知症チェックシートを敬老会で配布してはどうか。

答 敬老会、高齢者等が集まる所で配布したい。

問 早期発見、早期治療のための認知症機能検診、認知症機能精密検査は。

答 神戸市は、65歳以上に自己負担ゼロで地域の医療機関で診

察、疑いがあれば専門の医療機関診察を行う。

問 市としても支援できないか。

答 様々な視点から検証する必要があると認識。



関空、神戸空港新飛行ルート、騒音は大丈夫か

問 便数を増やす、高度を下げるなどで影響が出るのではないかと、市としての対応は。

答 3市連携し、先方に対して必要な調整を行っていき



市民連合クラブ

土井 巧 議員



神代公民館大規模改修は本年度中に着工へ

問 9月定例議会補正予算に計上されなかった経緯は。

答 5月の時点では増築する会議棟の外壁の一部に瓦を使用する計画であった。その後屋根に瓦を使用するという計画変更があり、実施設計がさらに遅れることになった。また、地元への連絡が遅くなり迷惑をかけた。

問 瓦の使用について各課の横の連絡、共通理解ができていないのでは。

答 社会教育課の方で十分できていなかったと反省している。

問 今後、神代公民館の改修計

画は。

答 12月定例議会に工事請負費の補正予算を提案、1月には入札業務・業者決定、令和6年12月末の完成を目指していく。

学校・市役所での生成AIの活用は

答 学校では指導する教員自身がAI利点リテラシー向上や性質等を理解する必要がある。今後システムエンジニアやICT支援員を活用して研修等を進める。

市の方では導入・利用においてDX推進委員会を組織している。

副市長をチームリーダーとして幹部職員、各担当職員も入っている。ガイドライン等も作り、研修も含めて進めていく。

その他、子ども議会の要望である通学路の安全や公園の整備なども要求した。また、スクールバス運行・民間プールでの水泳指導についても質問した。



▲改修が急がれる神代公民館



南あわじ市公明党

熊田 司 議員



熱中症対策にクーリングシェルターの設置を

問 厚生労働省の熱中症対策の事例の中で、庁舎や公民館などの公共施設、コンビニエンスストア、金融機関等と協力した一時避難所(クーリングシェルター)の設置に取り組んでいる所がある。このような取り組みも必要ではないか。

答 現在でも、市の庁舎、図書館のロビーなど市民が自由に利用できるスペースがある。開館時間内であれば、遠慮なく利用していただきたい。一時避難できる場所を増やすため、市内の社会福祉施設や商業施設などに

協力を呼び掛けていきたい。

ゆめるんセンターの休日開館で遊び場の拡充を

問 夏の暑さが異常な状態では、乳幼児の遊ぶ場所が限られる。ゆめるんセンターは屋内であり、また、遊び道具が豊富に揃っているなど、乳幼児には素晴らしい環境である。土曜日、日曜日に開館をして、遊ぶ場を提供してはどうか。



▲ゆめるんセンターの室内

答 現在、当センターは月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで開所しており、休日は園庭を開放している。新たにこの6月から月1回、屋内施設の開放も実施し、好評をいただいている。屋内施設の休日開放の拡大については、スタッフの体制もあるが、子育て支援の観点から前向きに検討したい。



絆

廣内 孝次 議員



渦潮の世界遺産登録について

問 関西万博でのPR活動は。

答 時期を合わせ国際シンポジウムの開催可能性の検討を進める。

問 3海峡クリーンアップ大作戦は。

答 昨年3会場では約1,300名、伊比海岸では600名の参加。

問 今年は、伊毘、生石、田ノ代海岸に加え、阿万海水浴場、鳴門の千鳥ヶ浜海岸の5か所、2,000人を目標に、11月4日10時から開催する。今年から子供たちへの啓蒙活動として渦潮の絵画コンクールに取り組んでいる

が状況は。

答 各学校へ周知し、特にアフタースクールで取り組み135名の応募があった。

問 淡路島民の会の世界遺産登録活動への理解は。

答 3海峡クリーンアップ大作戦の事務局で小学校への出前講座などの活動をしており重要な役割を果たしている。

問 補助するため、ふるさと納税の事業項目に加えられるか。

答 「その他、市長が特に認めること」があり相談する。

道路整備について

問 大榎列古津路線と大榎列古長田線の接続は。

答 事業化に向け進めている。

問 大榎列古長田線の成相川の新設の橋は。

答 養宜川の新設の橋に引き続き施工着手の予定をしており、順次計画を延滞なく進める。

問 洲本松帆線の掃守地区の対面通行のできない場所の拡幅は。

答 退避場設置について検討している。



▲大榎列古長田線突き当りの成相川新設橋予定地



大志クラブ

大江 幸司 議員



倭文中学校跡地利用について

問 サウンディング型市場調査とは、市有地等活用検討の早い段階で、その活用方法について民間事業者の皆様からの広く御意見を御提案いただく対話を通して、市有地等の不動産市場におけるポテンシャルや事業者の皆様が参加しやすい公募条件を正確に把握するための調査か。

答 そのサウンディング調査の結果についてというところが、こちらの立場といたしましては、民間の方々から一定の御意見をいただいて、今後、プロポーザル公募型によって跡地の活用につ

いてというところを進めていく。

問 売却で考えてるのか、賃貸で考えてるかということもまだ決めてないということか。

答 そちらを算定するために、現在不動産鑑定による評価額というものを業務委託している。

問 地元説明会は開かれたか。

答 地元のほうからも、いろいろと御意見をいただいたとい

うところでは人が集まる、定住人口の増加、地域の活性化につながるものといったような要望がある。また、地域貢献や地元地域を大切にする企業にできたら来ていただきたいなという御意見を頂戴してる。

問 補助金とか何か考えられるか。

答 補助金交付を考えていない。



▲倭文中学校



誠道クラブ

谷口 博文 議員



政策空き家(老朽化)してる市営住宅、県営住宅の現状は？

答 市内の市営住宅は、48団地の内、32団地が政策空き家で新規入居制限をしている。県営住宅の数は6団地管理し、1団地しか、耐震出来ていない。

問 耐震対策がなされていない市営住宅が、自然災害等で人的被害、財産的被害が発生した場合、行政責任が問われないか？

答 行政責任を問われる可能性があると考えます。

問 政策空き家の市営住宅を集約し、跡地の有効利用をすべきではないか？

答 古い木造の市営住宅は、少

数の方が入居している。退去をお願いしていますが、今後住宅地として、売却するかどうか検討も進めています。スピード感と言われると、胸を張って言えませんが、有効活用出来るように着手している。

問 市内空き家バンク利用の状況は？

答 空き家バンク制度は、平成28年度から開始し、登録申込件数が、令和5年8月末までで、213件。この内、登録に至ったのが、148件で登録物件のうち、売買、賃貸借契約に至ったのが95

件です。令和5年8月までの空き家バンク利用申込件数は、登録件数213件に対し、倍以上の456件となっている。

問 市内住民税非課税世帯数は？

答 非課税世帯が5,500世帯で、全体の世帯数が19,800世帯なので割合で28%が、非課税世帯という状況です。

その他、ごみ収集運搬業務の質問をした。



▲市営住宅



市民連合クラブ

蔭山 順子 議員



友好姉妹都市との交流と成果は！

問 市長が派遣団の一員としてセライナ市を訪問されたがその目的と成果は。

答 提携関係の強化、産業面での交流、南あわじの製品のPR、そして交流の歴史が非常に深い事を確認できた。

問 派遣団の学生は海外を自分の目で見て、言葉や文化の違いを肌で感じて英語力の大切さも実感したのではないか。学生の感想は？

答 ご指摘のとおり。交流を通じて全てが貴重な経験であった。

本市の読書推進活動って？

問 読書活動推進事業の内容は。

答 読み聞かせ、朝読、家読、読書環境の推進として学級文庫の充実や図書室の改修、学校司書の配置を強化等、市全体を通して取り組んでいる。

問 読書推進活動を継続していただきたい。

答 物理的な環境を整えることは非常に大事。

問 学習端末が配備され情報を得る手段も変わってきている時代だからこそ、その情報が正しい

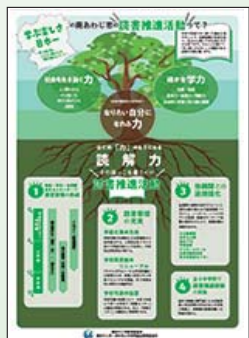
か判断する読解力を育てることが必要だと思うが市長の見解は。

答 おっしゃるとおり。英語学習にしても国語がしっかりしていないと。学習と言う意味での基礎の基礎という意味では読解力が非常に重要。さらに強化できるように方策を考えていきたい。

「子ども第三の居場所」とは

答 不登校や様々な課題を抱える子どもを中心に自立支援を目指して教育する場所。

他に、地元要望について質問した。



絆

北条志津子 議員



心豊かに暮らせるまちづくりの実現

問 どのような高齢者支援があるのか。

答 総合相談・日常生活支援・介護予防・社会参加・認知症施策の5つである。

問 高齢者運転免許証返納者への生活支援と特典は。

答 コミュニティバス1年フリーパス券を贈呈。移動手段の確保、コミュニティバス運賃割引、外出支援などがある。日常生活支援は課題として認識している。民間の動き等も把握し検討していく。

問 生活保護受給者の医療券は

月一度、また病院ごとに発行され、窓口受け取りになっている。2023年6月からマイナンバーカードにより医療扶助、資格確認ができる整備をされているが状況は。

答 マイナンバーカード連携の話もあるが詳細は示されていない、庁舎から遠方、急病の場合は状況に応じ電話申請も認めている。定期的受診は1か月分まとめて発行している。

問 子ども議会で提案されたコラボキーホルダー、手提げ袋とクリアファイル、ぬしマリンシールの取組については。

答 子どもの夢をかなえる身近なところで行った事業。

うずしおライン沿いの通学路整備

問 ローソン八木店の交差点改良の進捗状況は。

答 県警本部で今年度予算獲得実施に向け協議している。

問 王将付近の歩道整備の進捗状況は。

答 9月1日より県で工事を着手。今年度に完了予定。



▲完了間近の歩道（王将付近）



創生クラブ

木場 徹 議員



公園の管理体制と新設要望

問 子ども議会の代表から公園を増やしてほしい要望があるが。

答 イングランドの丘の無料化や小学校の園庭等の開放し、遊び場の確保している。

問 利用者から意見を聞く機会はあるのか。

答 意見をもう少し正確に聞く中で、考えていく必要がある。

水産振興について

問 市の生産量の変化と要因は。

答 令和4年2,540トンに落ち込んでいる。要因は栄養塩不足と海面温度の上昇。

問 新水産基本計画で、市として取り組む予定は。

答 丸山地区での海業を県へ3月までに地元意見として提案する。

沼島離島漁業再生支援事業について

問 キジハタ、ガザミの放流効果は。

答 キジハタは放流前の6倍の漁獲、ガザミは減少。

問 沼島の漁業は水揚げが少なく苦しい状態だ、色々な考えや知恵を絞ってほしい。

答 漁業者と共に売ること、沼島の宣伝を繰り返す必要がある。

道路排水対策

問 丸山バイパスの見直し協議は。

答 更なるルート案について協議している。

問 津井西本村の県道拡張は。

答 一部同意が得られた区間は拡張を進める。

問 阿那賀大出川の排水機場の要望は。

答 6年度から流域全体調査に本格着手する。

問 湊江川の対策は。

答 安城池の整備、バイパス水路対策案を検討する。

問 津井雁子の排水改修は。

答 マスからの水路設計を検討予定。



▲キジハタの放流



ゆづるはクラブ

中村三千雄 議員



離島振興計画と沼島地域の現状と課題について

問 離島振興計画にあたりどのようなプロセスで計画されたのか。

答 開発会、自治会、沼島汽船等の関係者と島内、来島者のアンケートをとり、県と協議しながら策定した。

問 貨物輸送確保の課題について。

答 4年度に市で検討を開始いたしまして、緊急時の対応について調整を図りながら、中長期的視点で検討する為、今年度より調査を開始する準備を進めている。

問 生活環境と周遊道の整備に

ついての現況は。

答 保安林区域内の枯木の伐倒駆除は県が6年度から2年にわたって事業の進捗を図っている。近畿自然歩道に指定されており市と県が支援しながら沼島のみなさんの力を借りながら整備を進めたい。

問 人の往来による観光振興策は。

答 国生みの神話と云うことで、体験できる島として、上立神、おのころ

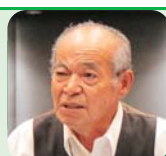
神社、島を周遊するおのころクルーズ等でPRしている。

問 鳥獣対策〇作戦についての対応は。

答 掃討作戦は簡単ではない。いろんな課題もあるが、あきらめているわけではないので、どうゆう形でやればいいのか考えて行きたいと思う。



▲沼島水門工事



市民連合クラブ

印部 久信 議員



異常気象と市民生活

問 過去125年で最も暑い夏、農作物の生育不良、熱中症重症化、医療逼迫等報道されている熱中症患者の緊急搬送について。

答 全国、令和5年82,854件、県3,654件、島内令和4年95件、令和5年123件、緊急搬送は増加傾向にある。

問 市の熱中症対策は。

答 熱中症要望講座の開催、高齢者が集う場、町ぐるみ健診健康相談時にリーフレットの配付、ケーブルテレビで熱中症予防啓発を行っている。また、市役所や図書館のロビーでクーリング

シェルターとして利用をしているだけだと思っている。

問 異常気象にて産業面にも影響が出てきている漁業について。

答 海水温が全国的に上昇以前にいたアジとか地元の魚が穫れなくなってきている。南方系の魚が増え、以前の状況ではなくなっている。ワカメの色落ち、ノリとかも白くなったりとかの事例もある。

問 畜産に対する遮熱について。

答 県民局事業として異常気象に応じた遮熱対策事業を実施しており事故防止対策を行ってい

る。

問 水稻に対する影響は。

答 高温障害が出ている。白未熟粒とか基部未熟粒と言われており、高温障害に耐えられる品種改良を進めている。



一部事務組合などの議会報告

兵庫県後期高齢者医療広域連合 第2回定例会〈8月22日〉

令和4年度一般会計決算認定などを可決。年金者組合等からの「2024年度の保険料改定にあたり、保険料を上げないことを求める請願」などは不採択。吉田良子議員は、「来年秋の保険証廃止について」一般質問をした。

淡路広域水道企業団 第3回定例会〈8月23日〉

令和4年度歳入歳出決算を認定。令和5年度水道事業会計補正予算（第1号）など3議案を可決。副議長に富永康文議員（淡路市）が選ばれた。

淡路広域行政事務組合 第3回定例会〈8月23日〉

令和4年度歳入歳出決算を認定。令和5年度特別会計補正予算（第1号）など3議案を可決。淡路公平委員会委員に喜田憲康氏（南あわじ市）の選任に同意。

淡路広域消防事務組合 第3回定例会〈8月23日〉

令和4年度歳入歳出決算を認定。令和5年度一般会計補正予算（第1号）など6議案を可決。議長に土井晴夫議員（淡路市）が選ばれ、監査委員に太田善雄議員（淡路市）の選任に同意。

第122回 南あわじ市議会臨時会日程（11月）

◆開会はずべて午前10時～

	日時	会議内容（予定）
第1日	11月21日(火)	1. 委員会調査報告 2. 議長の選挙 3. 副議長の選挙 4. 議席の変更 5. 一部事務組合など各議会議員の選挙
第2日	11月22日(水)	1. 追加議案上程（提案説明、質疑、討論、表決）

第123回 南あわじ市議会定例会日程（12月）

◆開会はずべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	11月28日(火)	1. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 2. 令和5年度補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 3. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	12月7日(木)	1. 一般質問
第3日	12月8日(金)	1. 一般質問
第4日	12月11日(月)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日	12月12日(火)	
第5日	12月19日(火)	1. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）
委員会	12月13日(水)	総務文教常任委員会（付託案件の審査、所管事務調査）
	12月14日(木)	産業厚生常任委員会（付託案件の審査、所管事務調査）

11月の委員会等日程

委員会	日時・場所	内容
議会運営委員会	11月14日(火) 午前10時 委員会室	第122回臨時会、役員改選について
議員協議会	11月15日(水) 午前10時 議員協議会室	役員改選について
会派代表者会議	11月8日(水) 午前10時 委員会室	役員改選にかかる申し合わせ事項確認
議会報告会	11月7日(火) 午前10時 沼島総合センター2階大集会室	1. 議会報告 2. 市民との意見交換

※インターネット中継はありません。
※総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会、議会広報広聴常任委員会の開催予定はありません。

「議会だより」がスマートフォンアプリで見れる

スマホ用アプリ「マチイロ」にて議会だよりを配信しています。



利用方法

App Store 又は Google Play から「マチイロ」アプリをインストール。

料金 無料（通信費は利用者負担）

1年間の調査報告

9月定例会で総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会の令和4年11月から1年間の活動報告が行われました。その結果を報告します。

部活動の地域移行は 保護者や生徒の声を聞きながら

総務文教常任委員会

▶市の総合的企画、調整

自治会運営について、若い方や多世代にわたって交流ができるように計画をすること。自治会への加入を促進するように、利用しやすい補助、支援を出していただきたい。

▶私有財産の維持管理と 財源確保

不要な市有財産について、行政の責任として、年次的な計画を立てて、進めていってもらいたい。

▶情報化の推進

高齢者スマホ相談等の事業を地域単位に広げ、コミュニケーションをするツールとして、簡単な操作を覚えて、楽しめるような取組をしていただきたい。

▶離島振興対策

沼島の離島振興計画は新たに10年間運用していくことになる。大型物資の輸送について市の支援を考えてもらいたい。

▶消防・防災対策の推進

冬季、夏季の避難所の温度管理に配慮が必要。

▶教育の充実、文化・スポーツ の振興と関係施設の整備

部活動の地域移行は、保護者や生徒の声を聞き、潤滑に進めてほしい。



▶青少年の健全育成

成人年齢引き下げによる若年層の契約トラブルがある。消費生活センターはこれからも市民に寄り添った対応をお願いする。

▶選挙管理委員会、監査委員、 固定資産評価審査委員会に関 すること

公費での選挙ポスターの掲示。多くの方に見ていただける場所を選定すること。

▶商工業及び観光の振興

大阪・関西万博において、淡路瓦を使用するなど地域の活性化に繋がるようなPRを。また、会場から当市への航路や公共交通機関を整備し、道の駅うずしおや灘黒岩水仙郷などへ観光誘客をしていただきたい。

▶水産振興の推進

漁業就業に繋げるため、令和4年度から始まった漁師プチ体験を継続してほしい。

▶都市整備事業の推進

南あわじ市のため池について、災害防止を重点に置いて改修をしていただきたい。子どもが喜んで遊べる公園を目指して、公園の管理や遊具に不具合が出たときは早急に対応をしていただきたい。

新設された地域包括支援室 庁内や関係機関と連携してきめ細やかな対応を

産業厚生常任委員会

▶生活環境の整備推進

資源ごみの分別について、ごみステーションに分別の方法を記した看板を設置するなど、誰でもわかるような工夫をしていただきたい。

▶福祉対策

令和2年度以降、「特別定額給付金」などの経済支援策が実施されたが、どれも給付率は100%に達していない。未申請世帯への再通知や民生委員、ケアマネジャーとの協力など、必要な世帯へ確実に給付金を届けてほしい。

▶介護保険と高齢化社会対策

家庭への調査は、個人情報のこともあるが、庁内や関係機関と連携をして、きめ細やかな対応をお願いしたい。



▲窓口での相談（イメージ）

▶医療体制と健康づくりの推進

市で管理している複数の温浴施設にはそれぞれの魅力があり、存続をお願いしたい。

議会ICTの取組などの先進地を管外調査

議会運営委員会

▶調査項目

- ・議会ICTの取組
- ・住民参画の取組
- ・定例記者会見
- ・議会基本条例の検証及び改正（7月24日～7月26日）

会、会議規則等の例規改正について質疑応答、意見交換を行った。また、住民参画の取組に関して、経緯及び状況、取組内容及び効果について質疑応答、意見交換を行った。

●北海道登別市議会

議会ICTの取組に関して、タブレット端末の活用方法、ペーパーレス化の取組、オンライン委員

●北海道苫小牧市議会

議会ICTの取組のほか、定例記者会見に関して、経緯や状況、効果や市民の反応について質疑

応答、意見交換を行った。

●北海道新ひだか町議会

議会基本条例の検証及び改正に関して、検証を行う組織、作業の流れ、会議日数、検証による具体的効果や課題について、質疑応答、意見交換を行った。



▲新ひだか町議会での質疑応答の様子

議会の見える化の取組などの先進地を管外調査

議会広報広聴常任委員会

▶調査項目

- ・議会の見える化の取組
- ・議会だより（7月3日～7月4日）

●岡山県美咲町議会

議会の見える化の取組みとして、議会だよりの工夫、YouTubeでの動画配信、出前議会等について、質疑応答、意見交換を行った。

美咲町議会での意見交換の様子▶

●広島県呉市議会

議会だよりのリニューアルについて、経緯、工夫、課題等について質疑応答、意見交換を行った。



議会広報広聴常任委員会

3市合同広報広聴交流会

（7月21日）

淡路市議会、洲本市議会の広報広聴を担う委員会と、議会だよりや議会報告会など、議会広報広聴活動全般にわたり、意見交換を行った。



▲意見交換の様子



▲セミナー受講の様子

近畿市町村広報紙セミナー

（7月25日～27日）

毎日新聞社毎日文化センター主催のセミナーをオンラインで受講し、広報紙のレイアウトや表紙写真の取り方、校正の仕方などについて学んだ。

南あわじプロモーション室 との意見交換会

（8月28日）

市の広報情報課南あわじプロモーション室と、市民への広報活動、広報紙作成について意見交換を行った。



▲市の広報紙について説明を受ける

タイトル 中秋の福良湾

(山田 恵子さん 提供)

休暇村から眺めたクルーズ船の灯りが
ディズニーの世界を思わせました。

(撮影場所 南あわじ市福良)



タイトル 奇跡の二重虹

(松尾 昭治さん 提供)

幸運をもたらすダブルレインボーブリッジ
(撮影場所 南あわじ市松帆)



タイトル 成相寺中門と紅葉

(入谷 雅治さん 提供)

八木馬回の成相寺での秋の紅葉の一コマ。
(撮影場所 南あわじ市八木)



引き続き 写真募集!!

風景・イベント等の写真を
お待ちしております



これまで以上に親しまれる「議会だより」の取組として、
皆様から投稿していただく写真(風景、イベント等)・コメントを掲載するコーナーを設けています。

▶▶▶ 応募条件 ▶▶▶ 応募者本人が南あわじ市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないもの。

▶▶▶ 応募方法 ▶▶▶ 住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を、明記の上、
下記の方法でお送りください。

●Eメールの場合 gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

●郵送、持参の場合 〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1 南あわじ市議会事務局 宛

▶▶▶ 注意事項 ▶▶▶
・掲載については、議会広報広聴常任委員会が審査決定し、採用された方には連絡を差し上げます。
・ご応募いただいた写真・データ等は返却しません。
・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには、当市議会は一切の責任を負いません。
・掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、当市議会がHP等で使用することができるものとします。

編集後記

「発表している時とても緊張したが、小学校の代表としてみんなの意見を伝えました」「もっと南あわじ市について考えていきたいと思いました」「みんなの思い実現されればいいなと思いました」これは今回の議会だよりでの表紙、特集ページで紹介している子ども議会での子どもたちの感想文の一部です。今後も子どもたちの思いをしっかりと受け止めていきたいと考えています。今回の議会だよりはいろいろな意見を参考に編集を変えてみました。みなさんのご意見、ご感想をお寄せください。よろしくお願いします。(吉田)

議会広報広聴 常任委員会

北条志津子
吉田 良子
土井 巧
長江 和代
蔭山 順子
大江 幸司